

汚れた水のまま放置された屋外プールをきれい

清掃経費抑えプール槽保護する洗浄促進剤

新型コロナウイルスの感染予防のため、多くの学校で約2年間、プール授業が休止となり、年に一度行っていたプール清掃が行われない状況が発生している。1年間放置されたプールの水を、さらに1年間汚れた状態で放置すると、プール槽に悪影響を与えると懸念する声が起きている。

東京都港区の渡邊和雄社長は「プール授業の休止によって、プールにためた水を汚れたまま放置する学校や、（循環器の点検をするために）一度清掃を行った後に、水をためて放置する学校など、プールを管理する施設担当者が対応に追われていくと多くの相談や問い合わせをいただいています」と話す。

さらに渡邊社長に聞いてみると「通常、学校の屋外プールは年に一度清掃を行っていますが、約8カ月もの間放置すると水質は悪くなり、プール槽のヌメリやこびり付きは簡単には取れません。さらに1年間放置すると、汚れは落ちづらくなります。昨年は腐敗した水の悪臭や蚊の大量発生などにより、近隣からの苦情で困っている学校からの問い合わせも多数ありました。プール授業を休止して清掃を行った場合に、上水道料金も30万円ほど（25リットルプールの場合）

経費が掛かります。高圧洗浄機を使ったり、金属たわしや硬いブラシを清S袋のプール（1袋10キロ）

シで過剰に擦過すると、プール槽の塗装面を著しく傷つけ、漏水などを招く恐れもあります。また、しつこい汚れを落とすために塩素を希釈せずに入れたりすることも同様の原因となります」と、コロナ禍の中で起きている屋外プールの弊害について説明した。

こうした屋外プールで起きている弊害を解決してくれるのが「マグクリーンSP」だ。特長として①水質が良くなる②藻のこびり付きを抑制する③プール槽に負担の少ない清掃が可能となる④清掃負担を軽減できる⑤水道料金削減など、使用するメリットは大きい。「プール槽の保護や清掃促進のためにも藻のこびり付き抑制と水質向上に寄与するプール洗浄促進剤としておすすめします」と、渡邊社長はコロナが収まり、今年の夏に屋外プールで授業が再開される、子どもたちの笑顔が戻ってくることを願っている。



「マグクリーンSP」のプール（1袋10キロ）を使用した学校清掃のイメージ



お問い合わせ
せV販売元・(株)
クリーンアース
テクノロジィ(電)
03(6430)
9615

マグクリーンSP